

◆ “ふるさとちば”のための政策推進を◆



いまい 勝 今井まさる県議会リポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

東京五輪を本県躍進の起爆剤に

官民一体で戦略練る

今秋、
推進本部立ち上げ

安心・安全な、住んで良かったと思うまちづくりに全力を上げている今井勝県議(我孫子市選出、2期)は6月県議会で自民党を代表して質問に立ち、県が直面する様々な課題について、現状や今後の方針を知事や教育長に質しました。東京オリンピック・パラリンピックに関する「オール千葉」での取り組み方法を質問、重度心身障害者の医療費助成では、医療機関窓口での一時負担が必要ない「現物給付」への移行が望まれているとして、県の取り組みを聞きました。今井県議の質疑と知事らの答弁を特集します。



6月県議会代表質問

今井議員 東京オリンピック・パラリンピックへのオール千葉での取り組みについてうかがう。

本県は東京に隣接し、成田空港や多様な宿泊施設などを擁しており、他の自治体と比べても、キャンプの招待や外国人観光客の誘致などにおいて立地面等で優位性を有している。

今後は、これらの優位性

を生かした具体的な戦略を県のみならず、市町村や民間企業とも連携して練つた上で取り組んでいくことが、

本県は東京に隣接し、成田空港や多様な宿泊施設などを擁しており、他の自治体と比べても、キャンプの招待や外国人観光客の誘致などにおいて立地面等で優位性を有している。

効果を生み出すことができると考えています。

また多くの県民の皆様に、同じ方向性に向かって取り組んでいくことにより、様々な相乗効果を生み出すことができると考えています。

両大会への関心を持つていただけ、千葉県全体の機運を高めていくことも大事です。そのため、県・市町村・民間企業・ボランティア団体や、県民の皆様が、それ

そこで、本年度あらたに

2020年東京オリンピックでの本県選手の活躍、とりわけ、ジュニア世代から育成した選手が世界のひのき舞台で活躍することは、子どもたちに大きな夢や自信を与えるものと考えております。

そこで、本年度あらたに主な取組は、高い意識の醸成と選手の発掘を目的とする「基礎強化支援」と、オリンピック出場が、特に期待される選手に対し強化を行う「特別強化支援」とし、国際大会等の視察や、外部指導者の活用など、個々の選手に対応した、効果的な支援を推進することとしております。

**五輪出場を目指し
ジュニア強化事業**

今井議員 選手育成に対する県の考え方はどうか。

教育長 「めざせ東京オリンピック・パラリンピックでは、東京オリンピックで実施予定であります28競技のジュニア選手を対象に、当該競技団体から推薦された選手を選考の上、「強化指定」として認定し、育成に取り組んでまいります。

今井議員 選手の育成にどのように取り組んでいくのか。

教育長 「めざせ東京オリンピック・パラリンピックでは、東京オリンピックで実施予定であります28競技のジュニア選手を対象に、当該競技団体から推薦された選手を選考の上、「強化指定」として認定し、育成に取り組んでまいります。

主な取組は、高い意識の醸成と選手の発掘を目的とする「基礎強化支援」と、オリンピック出場が、特に期待される選手に対し強化を行う「特別強化支援」とし、国際大会等の視察や、外部指導者の活用など、個々の選手に対応した、効果的な支援を推進することとしております。

今井まさる・PROFILE

□ 略歴 □

- 昭和23年 1月 我孫子市生まれ。湖北小、湖北中、柏日体高卒
- 昭和41年 4月 千葉日産入社→退社
- 昭和43年 4月 今井タクシー入社→会長
- 平成11年11月 我孫子市議会議員初当選(2期連続当選)
- 平成17年 4月 県議会議員補選337票差で次点
- 平成19年 4月 県議会議員初当選(2期連続当選)

□ 現職 □

- 県議会 文教常任委員会副委員長
- 自民党 総務会常任総務
- 自民党県連 組織本部委員
- 議員連盟 私学振興、動物愛護、商工、靖国神社、地域医療、幼児教育、保育所、医療、調理師、宅地建物等、介護、防衛、資源リサイクル、看護、ハツダム、カジノ、環境保全

●県政や我孫子のご相談、ご意見を聞かせてください
今井まさる 県議事務所

TEL.04-7181-7181
FAX.04-7181-7187

重度心身障害者の医療費助成

平成26年8月16日(土曜日)

重度心身障害者医療給付改善事業は、重い障害を持つ方について、医療保険の自己負担に相当する額を助成する市町村に対し、その二分の一を県が補助する制度。その助成方法は「償還払い」であるため、いつたん医療費の自己負担分を支払い、後日、市町村に申請して、還付を受けなければならない。

医療費の高額化や医療保険制度の改正による自己負担割合の拡大等により、いつたん窓口で支払う額も増加し、また、市町村から還付を受けるまで約3カ月間程度かかることから、負担感が増している。

特に重い障害を持つ方にとって、還付の手続きのため市町村に出向かなければならぬことが、大きな負担

今年度末の策定目指す 次期教育振興基本計画

今井議員 教育行政についてうかがう。本県の次期教育振興基本計画を、どのように策定していくのか。

教育長 次期計画の策定に当たつては、本県教育をめぐるこれまでの社会状況

の変化や現行計画の点検・評価を踏まえるとともに、さまざまな意見聴取を行い、また、昨年6月に公表されました。このため、本県の当面す

る教育課題や教育の振興に関する基本的な方針について、専門的な御意見をいたしました。

を自途に、千葉県らしさのあるより良い教育振興基本計画を策定してまいります。

いじめ防止条例の趣旨実現を

防止対策推進条例の制定を受けて、県教育委員会ではどのような取組を行っているのか。

今井議員 千葉県いじめ条例の制定を受け、いじめ問題に重要な役割を果

たすスクールカウンセラーを従来の中学校、高等学校に加え、新たに小学校に配置するなど、相談体制の充実を図り、いじめの未然防止、早期発見に努めているところです。

また、本年4月には、学識経験者で構成する「千葉県いじめ対策調査会」を新たに設置し、本県の実情に応じたいじめ防止基本方針の策定に向けての審議を開始したところであります。

学校、家庭、教育委員会など、連携して対策に取り組んでまいります。

条例は、まだ動き出したばかりだが、県民が一丸となって条例の趣旨を実現し、子供たちの笑顔があふれ、健やかな成長を実現できるよう、私たちも全力で支援する。教育委員会としても、いじめ防止対策のより一層の充実に取り組んでいただければと思う。

このように「償還払い」を改め、「現物給付」を導入するよう求められる要望が、害当事者や障害者団体等により、数多く寄せられ、また、市町村も、償還払いの事務処理に多くの時間と労力を要していることから、「現物給付」を望んでいる。



議場の自席で再質問を行う今井勝県議

県、来年8月から実施

になつてゐる。

このように「償還払い」を改め、「現物給付」を導入するよう求められる要望が、害当事者や障害者団体等により、数多く寄せられ、また、市町村も、償還払いの事務処理に多くの時間と労力を要していることから、「現物給付」を望んでいる。

これまでに、複数回にわたって、現物給付化の実現に向

窓口で支払い不用 「現物給付」方式へ

化については、一昨年の県議会における全会一致の請願の採択を受け、本格的な検討を進め、昨年の9月議会において、現物給付化の方向性を打ち出したところです。

これまでに、複数回にわたって、現物給付化の実現に向

が、現物給付化の実現に向

たまでの協議結果を踏まえ、平成27年8月から現物給付化を実施したいと考

えております。

今井議員 調査の結果を受け、今後、どう取り組んでいくのか。

副知事 県では、これまで、医師・看護職員の養成力の強化、県内就業への誘導、離職の防止、再就業の促進など様々な面から対策を講じてきました。

その結果、本年度の県内病院への初期研修医の内定者は、前年度より33人多い326人で、全国最多の増加数となり、今後、県内に定着する医師の増加が期待されています。

また、看護師養成学校の新設や定員増の支援により、1学年の定員がこの3年間で、405人増加するなど、看護職員の増加に向けても一定の成果が現れてきています。

具体的には、消防学校に施設等を充実・強化する点に大きな特徴があります。

消防学校・防災研修センター実践訓練できる施設に

今井議員 新たに整備される消防学校・防災研修センターの特徴は何か。

副知事 今回の整備は、消防職・団員及び自主防災組織などが、より実戦的な教育訓練が実施できるようになります。

消防学校・防災研修センターは、被災時に視界不良となつたビル・地下街など、様々な災害現場を想定した訓練施設を新たに整備し、あらゆる災害に対応できる高い能力を持った消防職・団員の育成を目指します。

防災研修センターについては、消防学校に併設して、地域防災の担い手である自衛隊や企業の自衛防災組織等の防災力の充実強化を図つてまいります。

今井議員 教育委員会としても、条例に基づき、様々な取組を推進しているところのこと

だが、まさに、いじめ問題はこれだけやつていれば丈夫というものではなく、